



東和薬品株式会社

# 平成25年3月期 決算補足説明資料

2013年5月

(証券コード:4553)

# まとめ

- ・ 売上高は前期比13.4%増。第1四半期は売上が急拡大したが、第2四半期以降は横ばい傾向。
- ・ 原価率は前期比で4.7ポイント上昇した。山形工場稼働の影響が大きい。
- ・ 営業所数は55(前年度3月末:44)となり、中期経営計画の目標に到達した。
- ・ 次期の業績見通しについては、山形工場の減価償却費により原価率が高止まりしていることに加え、人件費や研究開発費の増加により、営業利益はほぼ横ばいとみている。

# 2013年3月期決算概要

期	13/3			12/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	55,241	100.0	+ 13.4	48,719	100.0
売上原価	27,500	49.8	+ 25.1	21,986	45.1
販管費	20,018	36.2	+ 13.6	17,624	36.2
営業利益	7,723	14.0	- 15.2	9,107	18.7
経常利益	9,544	17.3	- 3.0	9,841	20.2
当期純利益	6,201	11.2	+ 8.1	5,737	11.8

# 2013年3月期決算概要

(対計画比)

期	13/3			13/3 計画 (2月12日発表)	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	対計画比 (%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	55,241	100.0	+ 0.4	55,000	100.0
売上原価	27,500	49.8	+ 2.6	26,800	48.7
販管費	20,018	36.2	+ 1.1	19,800	36.0
営業利益	7,723	14.0	- 8.1	8,400	15.3
経常利益	9,544	17.3	+ 3.7	9,200	16.7
当期純利益	6,201	11.2	+ 3.4	6,000	10.9

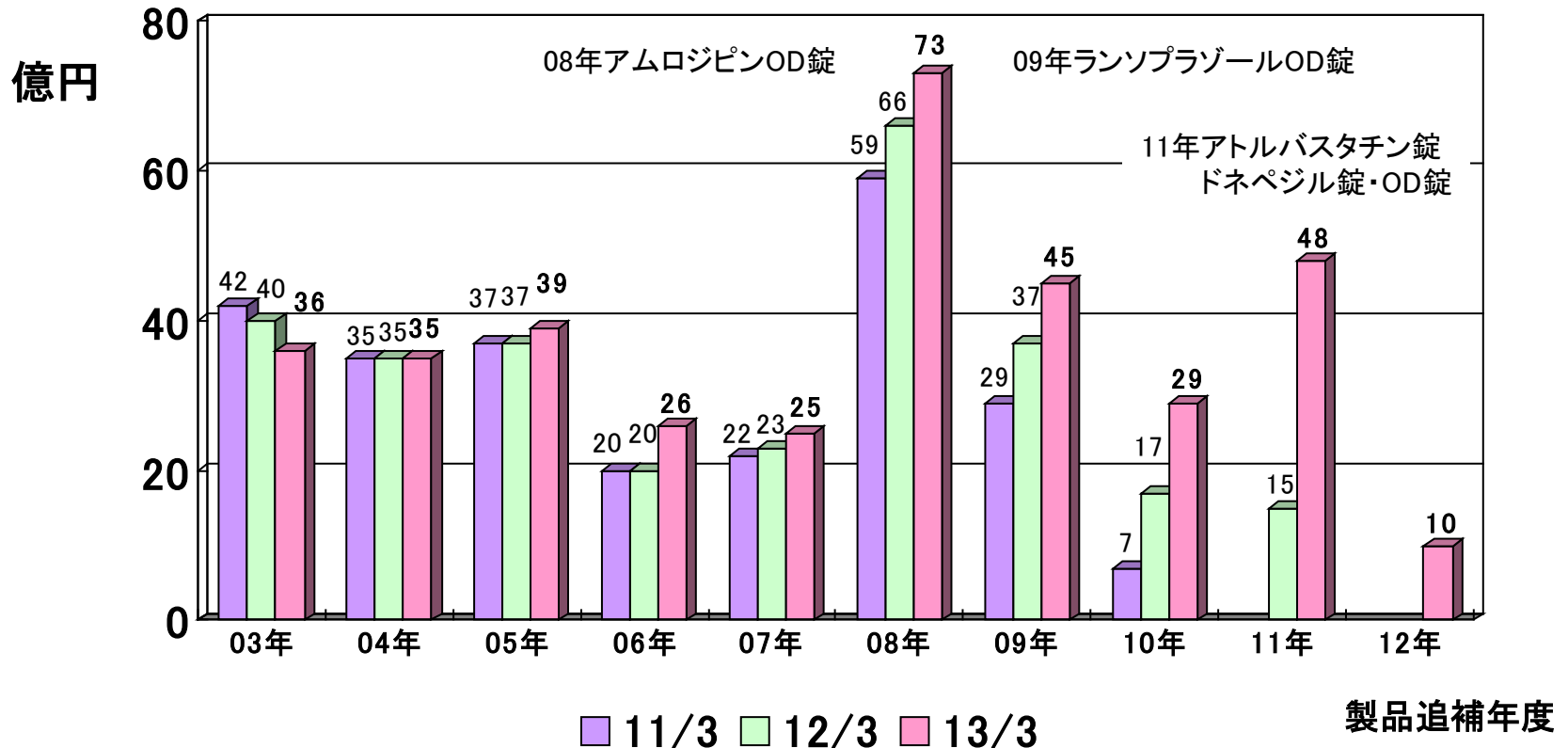
# 2013年3月期決算概要

(単体)

期 項目	13/3			12/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	53,624	100.0	+ 13.5	47,225	100.0
売上原価	26,573	49.6	+ 26.1	21,072	44.6
販管費	19,509	36.4	+ 13.9	17,128	36.3
営業利益	7,541	14.1	- 16.4	9,025	19.1
経常利益	9,358	17.5	- 4.2	9,768	20.7
当期純利益	6,091	11.4	+ 6.9	5,696	12.1

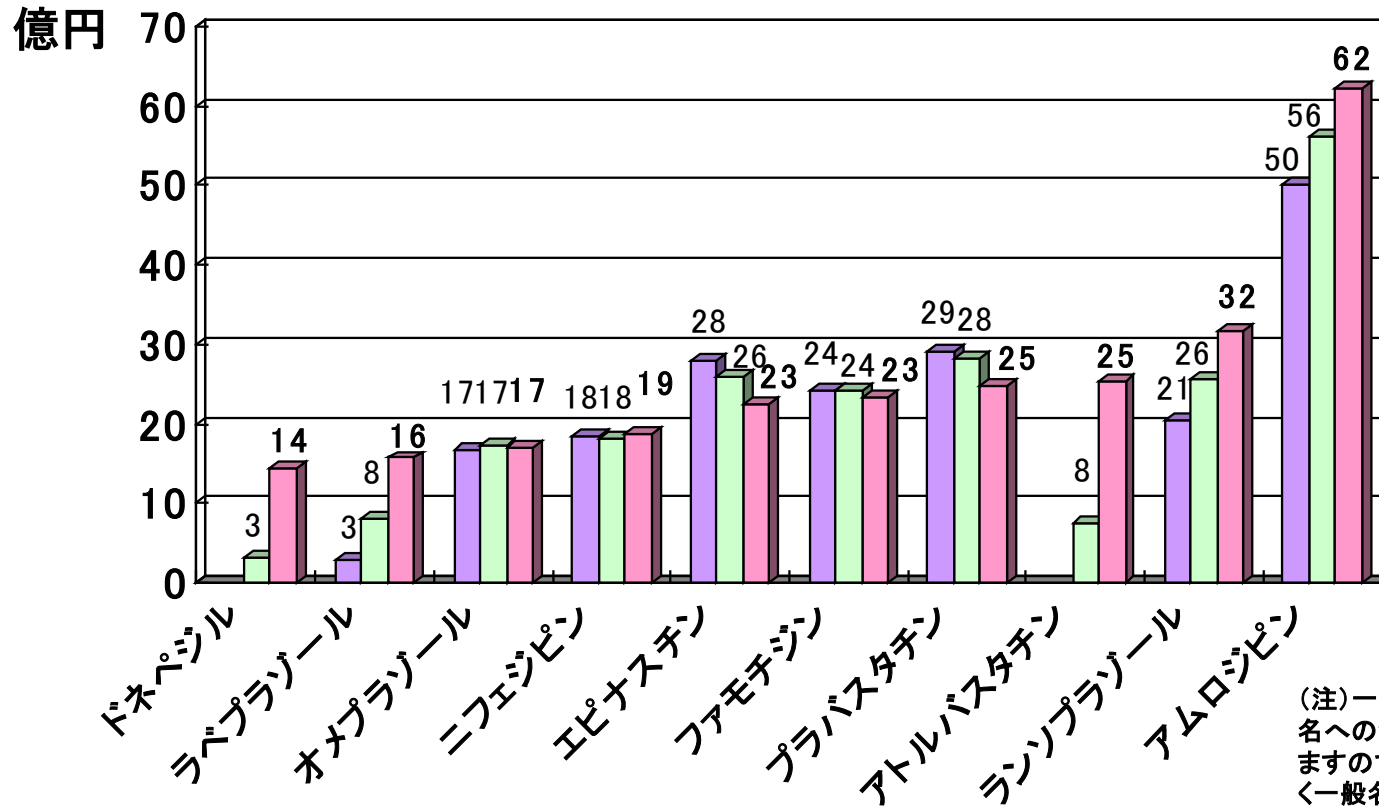
# 追補年度別売上高推移

11年追補が売上増に大きく寄与した。



# 主要製品売上高推移

アトルバスタチン、ドネペジルが大きく伸長

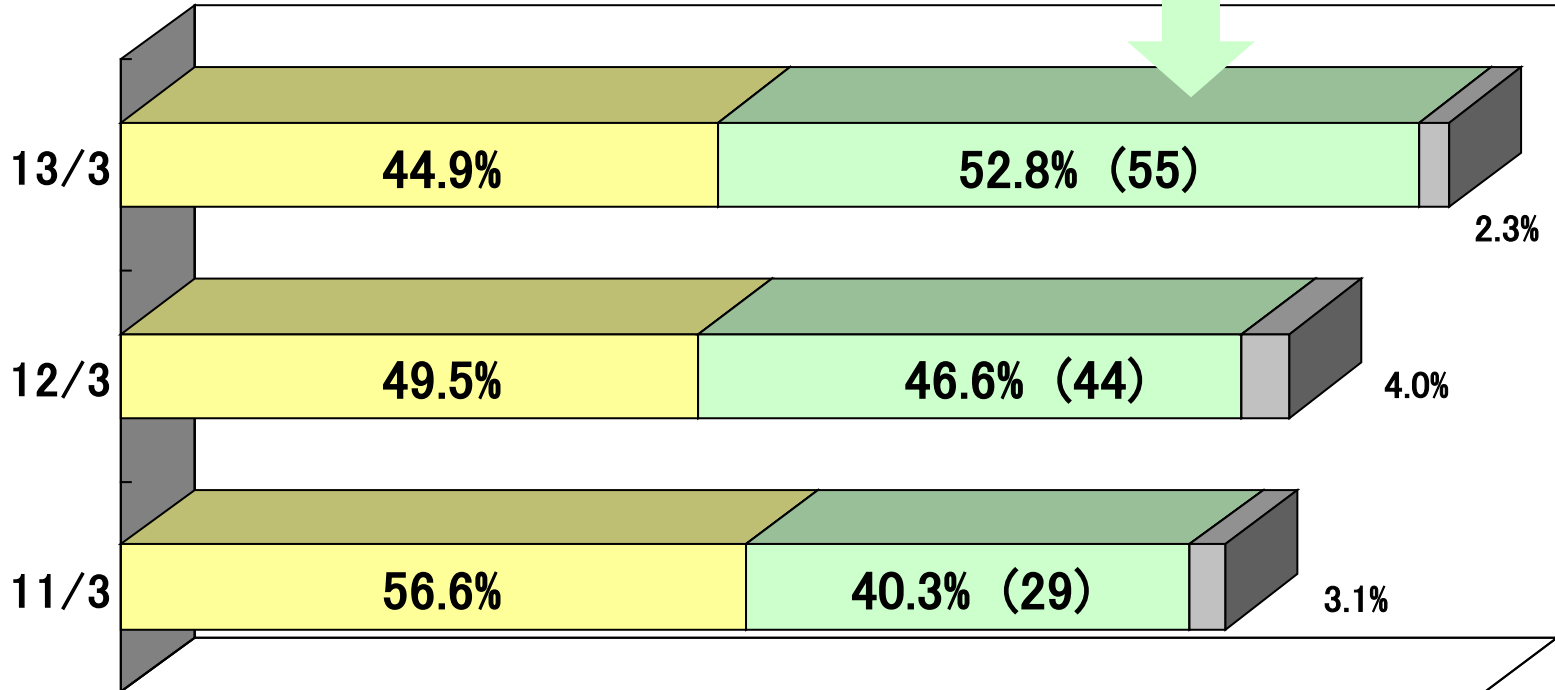


■ 11/3 ■ 12/3 ■ 13/3

(注) 一般的名称を基本とした販売名への切り替えを順次進めておりますので、今回より製品名ではなく一般名(成分名)で記載します。  
 ニフェジピン = トーワラート  
 エピナスチン = エルピナン  
 ファモチジン = ファモスタジン  
 プラバスタチン = マイバスタン

# 売上高詳細(販路別)

代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。  
( )は営業所数

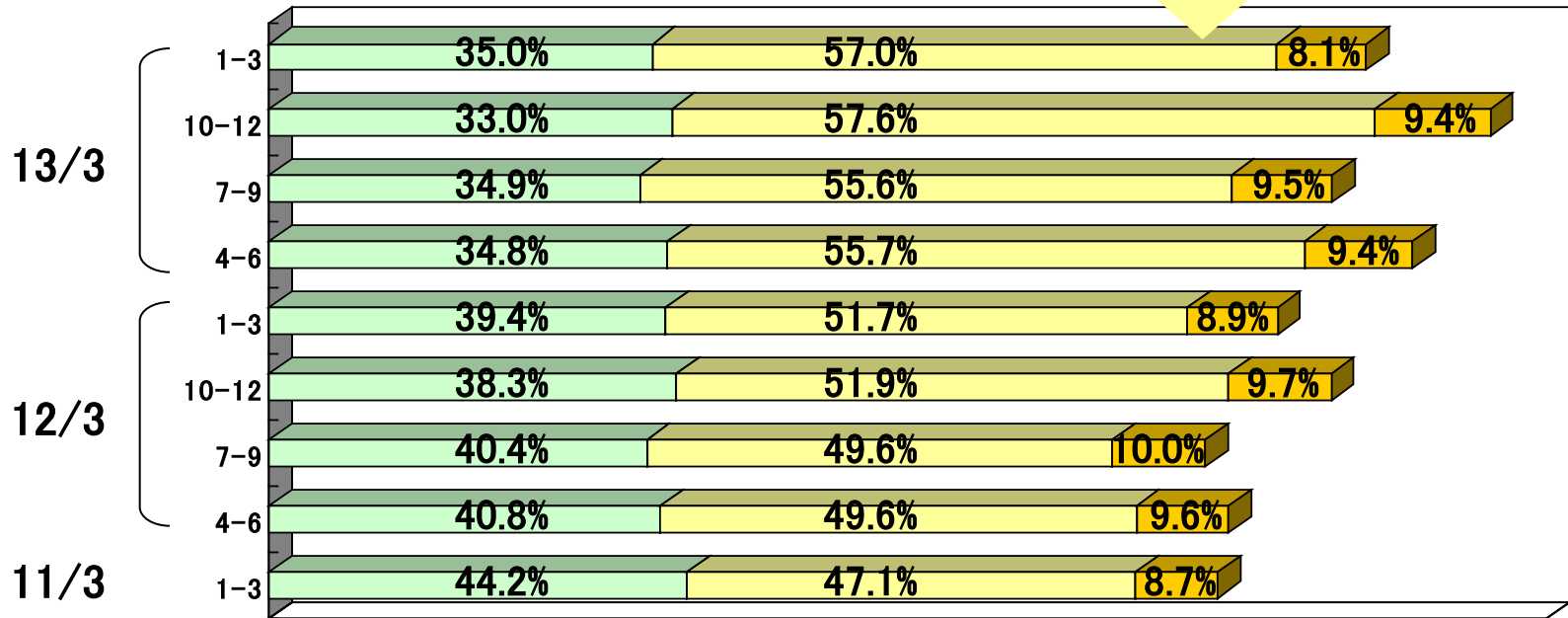


■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)



# 売上高詳細(納入先別)

12年4月に保険薬局向けの売上が上昇したが、  
2年前と同様その後頭打ちとなっている。



■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院

(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

# 販売費及び一般管理費

期 項目	13/3			12/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
人件費	8,790	15.9	+ 12.8	7,790	16.0
研究開発費	4,478	8.1	+ 9.9	4,076	8.4
減価償却費	712	1.3	+ 90.7	373	0.8
広告宣伝費	870	1.6	- 16.8	1,046	2.1
その他	5,166	9.4	+ 19.1	4,338	8.9
販管費	20,018	36.2	+ 13.6	17,624	36.2

(注) 本スライドの減価償却費には、研究開発費に含まれる減価償却費は含まれていない

# 営業外損益

期	13/3			12/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年比増減 (百万円)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
営業利益	7,723	14.0	- 1,384	9,107	18.7
営業外収益	2,082	3.8	+ 1,232	849	1.7
スワップ評価益	1,151	2.1	+ 692	458	0.9
補助金収入	322	0.6	+ 322	-	-
その他	608	1.1	+ 217	390	0.8
営業外費用	261	0.5	+ 145	115	0.2
支払利息	109	0.2	+ 23	85	0.2
その他	152	0.3	+ 122	29	0.1
経常利益	9,544	17.3	- 297	9,841	20.2

(為替レート)  
1ドル

2013/3  
93.05円

2012/9  
76.60円

2012/3  
81.19円

# 貸借対照表

(百万円)

項目	13/3	12/3	増減
現金及び預金	3,485	4,217	- 731
受取手形 及び売掛金	17,217	16,467	+ 750
有価証券	3,000	2,081	+ 919
商品及び製品	10,450	9,169	+ 1,281
その他流動資産	12,895	10,310	+ 2,585
<b>流動資産計</b>	<b>47,049</b>	<b>42,245</b>	<b>+ 4,803</b>
建物及び構築物	21,271	19,230	+ 2,041
機械装置及び運 搬具	8,388	4,943	+ 3,445
その他固定資産	12,996	14,825	- 1,829
<b>固定資産計</b>	<b>42,656</b>	<b>38,998</b>	<b>+ 3,657</b>
<b>資産合計</b>	<b>89,705</b>	<b>81,244</b>	<b>+ 8,461</b>

項目	13/3	12/3	増減
支払手形 及び買掛金	7,482	6,473	+ 1,009
1年内返済予定 の長期借入金	2,825	2,007	+ 817
未払金	3,327	3,301	+ 26
その他流動負債	5,884	8,044	- 2,160
<b>流動負債計</b>	<b>19,519</b>	<b>19,826</b>	<b>- 307</b>
長期借入金	12,908	9,792	+ 3,116
その他固定負債	1,667	1,131	+ 536
<b>固定負債計</b>	<b>14,575</b>	<b>10,923</b>	<b>+ 3,652</b>
<b>負債合計</b>	<b>34,095</b>	<b>30,750</b>	<b>+ 3,345</b>
<b>純資産合計</b>	<b>55,610</b>	<b>50,494</b>	<b>+ 5,116</b>
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>89,705</b>	<b>81,244</b>	<b>+ 8,461</b>

# キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

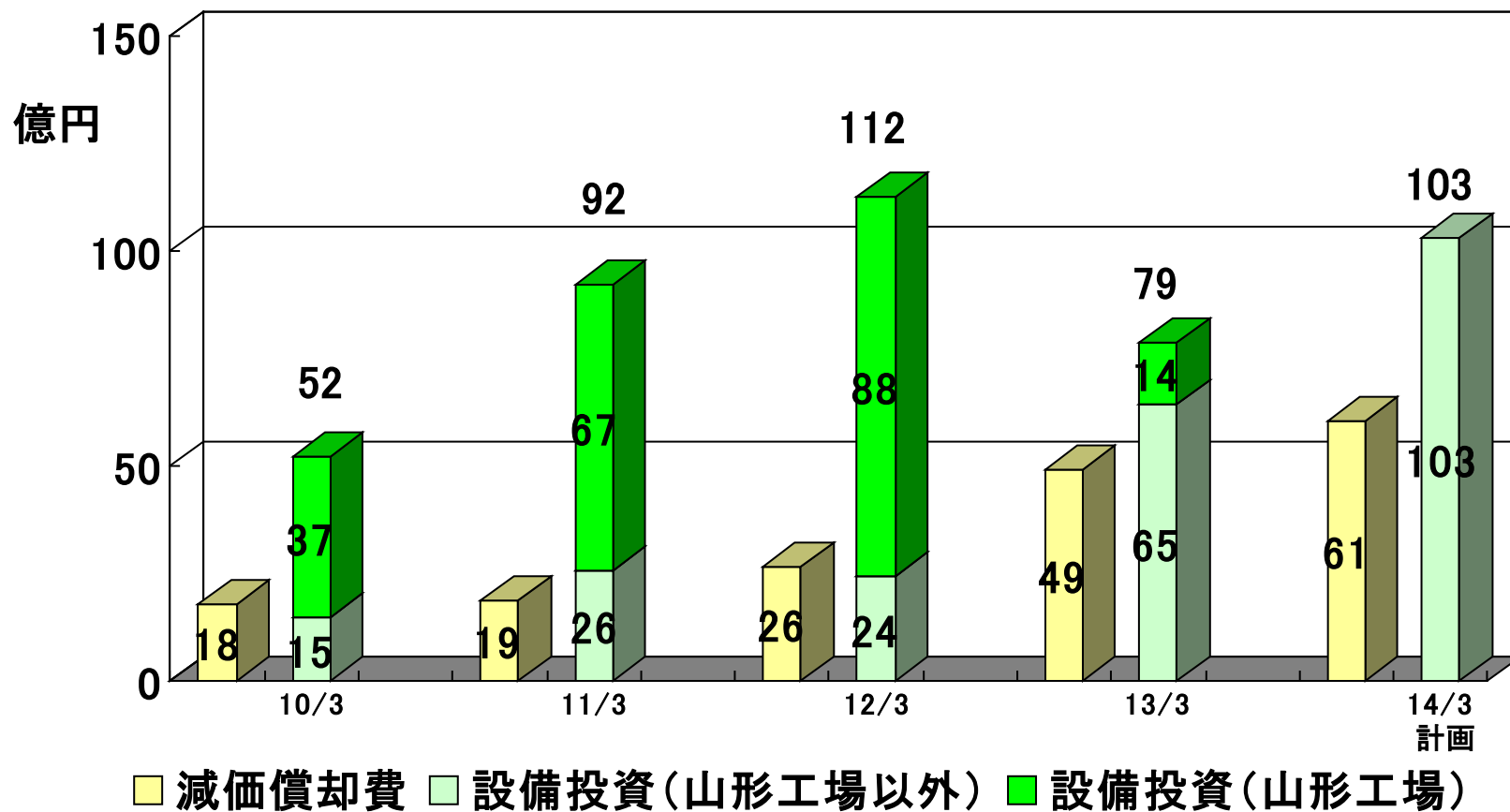
項目	13/3	12/3
税金等調整前四半期純利益	9,310	9,733
減価償却費	4,909	2,637
たな卸資産の減少(増加△)額	- 2,371	- 3,819
法人税等の支払額	- 3,351	- 3,817
その他	147	- 1,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,645	3,379

項目	13/3	12/3
有形固定資産の取得による支出	- 10,524	- 9,009
その他	- 774	527
投資活動によるキャッシュ・フロー	- 11,298	- 8,482

項目	13/3	12/3
長期借入れによる収入	6,500	3,500
長期借入れの返済による支出	- 2,565	- 700
その他	- 1,140	- 1,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,793	879

項目	13/3	12/3
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	- 9
現金及び現金同等物の増減額	187	- 4,232
現金及び現金同等物の期首残高	3,798	8,031
現金及び現金同等物の期末残高	3,985	3,798

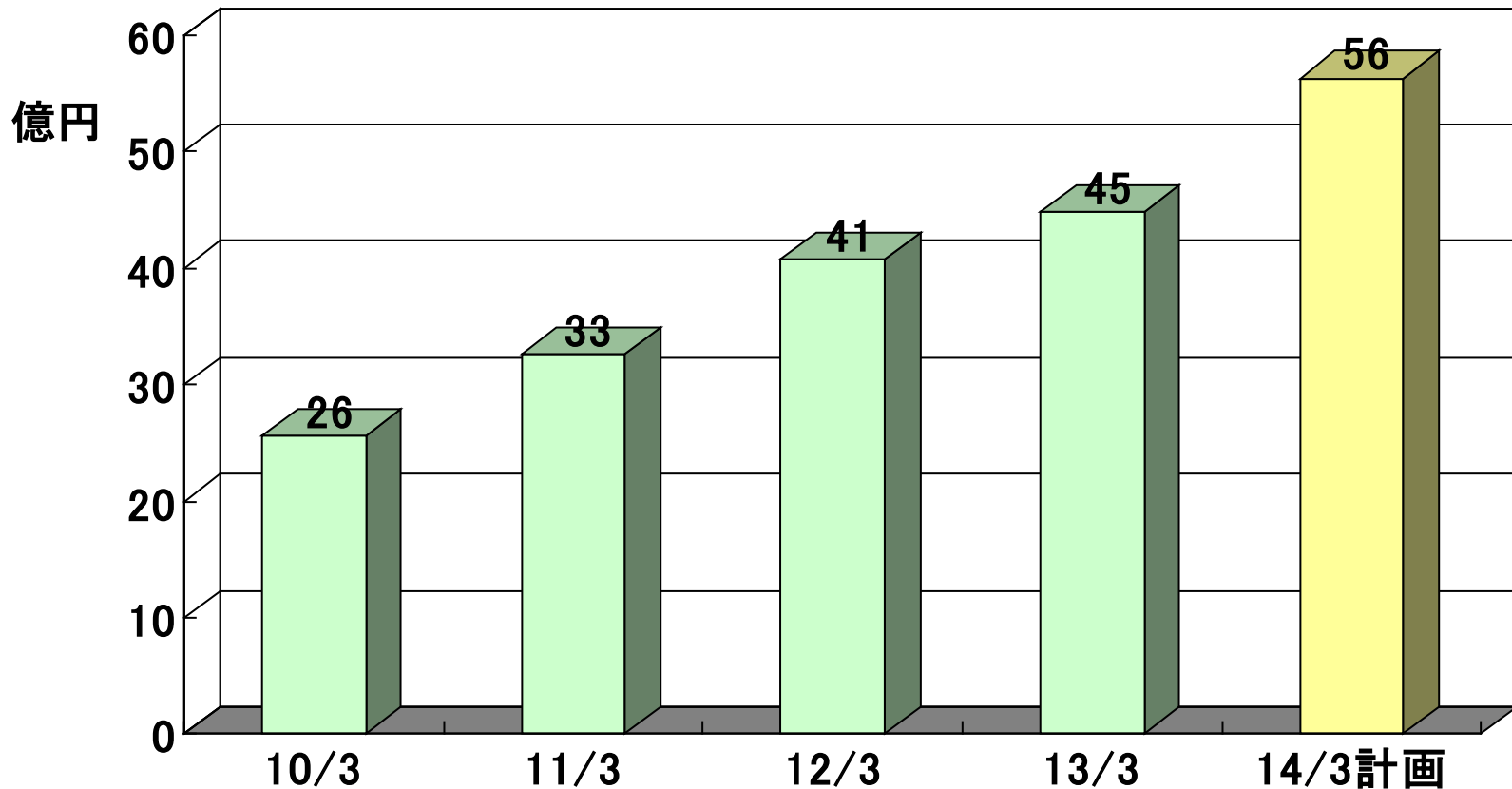
# 設備投資・減価償却費



# 2014年3月期設備投資計画

項目	設備投資額 (億円)	主な内容
大阪工場	19	増改築、製造設備更新
岡山工場	17	増改築、製造設備更新
山形工場	18	新規設備導入
物流	7	東日本物流センター拡張
研究開発	9	中央研究所の改築費、機器増強
大地化成	18	原薬製造工場の建設
その他	15	営業、管理部門、システムなど
合計	103	

# 研究開発費





# 2013年6月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2012年度 売上(億円)
アレルギー性疾患治療剤	フェキソフェナジン塩酸塩OD錠60mg「トーワ」	アレグラOD錠60mg (サノフィ)	11
	フェキソフェナジン塩酸塩OD錠30mg「トーワ」	—	—
	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「トーワ」	アレグラ錠60mg (サノフィ)	550
	フェキソフェナジン塩酸塩錠30mg「トーワ」	アレグラ錠30mg (サノフィ)	30
経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤	ロキソプロフェンNaテープ100mg「トーワ」	ロキソニンテープ100mg (リードケミカル)	262
	ロキソプロフェンNaテープ50mg「トーワ」	ロキソニンテープ50mg (リードケミカル)	118
	ロキソプロフェンNaパップ100mg「トーワ」	ロキソニンパップ100mg (リードケミカル)	58

など、7成分 15品目を上市予定

6月追補品合計で初年度売上約6億円

フェキソフェナジン 約4億円

ロキソプロフェン 約1億円

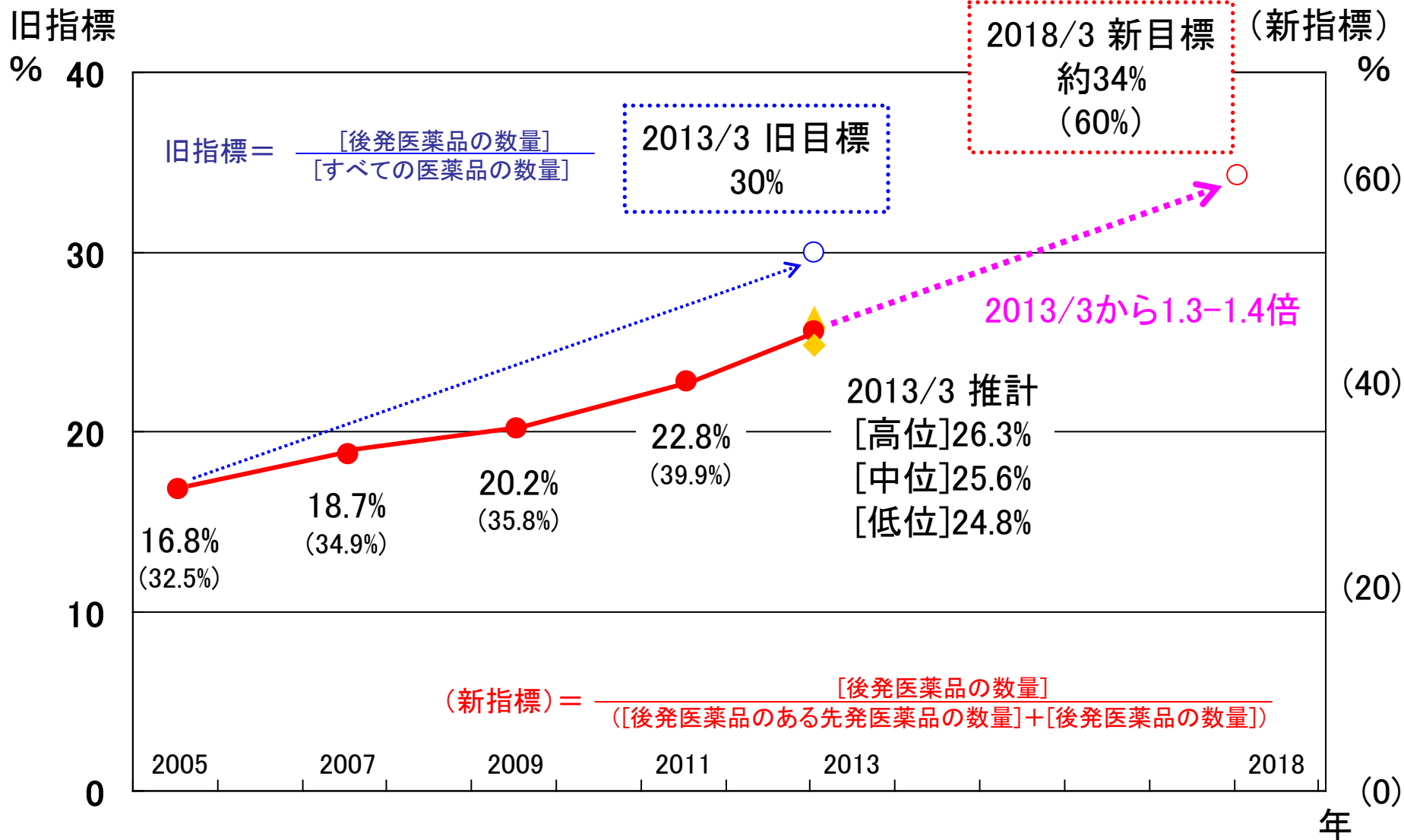
を計画しております。

# 2014年3月期 計画

期	14/3 計画 (5月14日発表)			13/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	60,800	100.0	+ 10.1	55,241	100.0
売上原価	30,000	49.3	+ 9.1	27,500	49.8
販管費	23,000	37.8	+ 14.9	20,018	36.2
営業利益	7,800	12.8	+ 1.0	7,723	14.0
経常利益	7,850	12.9	- 17.8	9,544	17.3
当期純利益	5,200	8.6	- 16.1	6,201	11.2

- ・ 14年4月の消費増税を踏まえ、年度末には一定規模の前倒し需要を見込む。
- ・ コスト面では、山形工場の減価償却費の計上がピークを迎える見通しであることに加え、今後の業績拡大に備えた要員の拡充や研究開発費の拡大などにより、増加する見込み

# 後発医薬品の数量シェアの目標と実績



2013年4月5日 厚生労働省「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」より当社作成

＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 経営企画部

[ir@towayakuhin.co.jp](mailto:ir@towayakuhin.co.jp)

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。